

会長 幹事長 会計 広報 書記

志清会は、あきる野市議会では志を同じくする11名の議員による政策グループです。



ほりえ たけし 堀江 武史(45) 📍 淵上 🟢6回 都市整備	うすい けん 臼井 建(54) 📍 秋留 🟢3回 行財政等	よしざわ ゆたか 吉澤 雄孝(65) 📍 伊奈 🟢2回 医療・福祉等	うらの はるみつ 浦野 治光(68) 📍 草花 🟢2回 環境・経済	くにまつ まさき 國松 正輝(47) 📍 五日市 🟢1回 観光・移住・定住	こごもり としひと 子龍 敏人(50) 📍 菅生 🟢5回 子育て・教育等	あまの まさあき 天野 正昭(66) 📍 小和田 🟢4回 農林・獣害	むらの えいいち 村野 栄一(56) 📍 二宮東 🟢4回 公共交通等	くぼしま せいいち 窪島 成一(69) 📍 平沢 🟢3回 生活・高齢者	ひはら しょうご 日原 省吾(58) 📍 野辺 🟢3回 デジタル等	なかむら かずひろ 中村 一広(55) 📍 秋川 🟢3回 商工業・防災
--	--	---	--	--	---	---	---	--	--	--

※上段：氏名、年齢 / 中段：住所、当選回数 / 下段：担当

## 薬剤師会との意見交換

7月3日に、あきる野薬剤師会の役員4名と次の主な課題について、意見交換を行いました。

- 1 使用済み注射針の回収
- 2 ブラウンバッグ運動の周知
- 3 かかりつけ薬局の周知 等

特に注目すべきは、**使用済み注射針の回収活動**です。

現在、在宅での糖尿病治療に使用されるインスリン注射などが広まっており、**使用済み注射針の適切な廃棄**が重要視されています。このような状況の中、薬剤師会の会員薬局では、患者さんに専用の回収容器を無償で提供し、それを回収して専門業者に処理を依頼することで、医療廃棄物として安全かつ適切に処理を行っております。

また、患者さんが**残薬**や日常的に服用している薬を薬局に持参することで、残薬を減らし、自己判断による服用中断や無断服薬のリスクを軽減する「**ブラウンバッグ運動**」などについてもお話を伺いました。

志清会では、これらの自主的な社会的貢献活動の取り組みについて、**使用済み注射針の回収活動**については**助成制度の導入**を、**ブラウンバッグ運動**や**かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師**については**市の広報紙**や**ホームページ**などで広く周知するよう、それぞれ市に要望書を提出しました。



薬剤師会役員との意見交換会



志清会要望の  
全容はこちら

志清会公式ホームページより  
ご覧いただけます。



## 带状疱疹予防接種費用の助成が実現

带状疱疹は水痘带状疱疹ウイルスによって引き起こされ、免疫力の低下や加齢に伴い発症するリスクが高まります。特に**50歳以上の人は発症しやすく、80歳までに3人に1人が罹患する可能性**があります。

この背景を考慮して、志清会では市長に対し、東京都の助成制度を活用して带状疱疹ワクチン接種費用の助成を要望した結果、9月議会の補正予算で可決され、予算を獲得することができました。

これにより、従来、带状疱疹予防接種（不活化ワクチン）には約4万円かかっていましたが、新しい助成制度により、**利用者の負担が約2万円になります**。

また、**令和5年4月1日以降に接種を受けた方も対象**となります。詳細については市の健康福祉部健康課にお問い合わせください。

### 带状疱疹予防接種費用の助成概要



対象者	接種時点であきる野市に住所を有する50歳以上の方	
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
助成金額	5,000円/回	10,000円/回
助成回数	上限1回	上限2回
自己負担額	医療機関の設定金額から助成金額を差し引いた金額 (契約医療機関の場合)	



## 武蔵引田駅北口土地区画整理視察

8月1日に、武蔵引田駅北口土地区画整理事業地を視察しました。この事業地内は、新しく区画された道路沿いに住宅が建ち並び、快適な環境の中で新しい街が形成されつつある様子を確認できました。

今後は、令和7年度の完了を目指して、駅に直結する道路や駅前トイレのほか、民間事業者の商業施設などの工事が計画的に始まる予定です。



武蔵引田駅北口土地区画整理事業地

また、事業地内の西端に位置する大型物流倉庫(T-LOGIあきる野)についても視察しました。

この施設では、すでに約300人の方々が環境に配慮された近代的な施設で働いており、今後も新たな事業者が入居する予定と伺いました。志清会では、これからも事業完了まで皆さんの声を真摯に受け止め、市の新たな核となるまちづくりに向けて取り組んでまいります。



T-LOGIあきる野 外観

## 移住定住案内ツアーを体験

市では、令和5年4月から移住定住相談窓口を設置し、市内への移住を希望する方々へのサポートをスタートさせました。

8月末時点で延べ179件の案内が行われ、現在2組の家族が移住を実現しました。会派ではこの状況を的確に把握し、さらに移住定住を進めるための体験ツアーを行いました。

この移住サポートは、主に都心で働きながら子育てをする世代を対象として、市内の主要な施設を巡るもので、秋川駅北口周辺の街並みや公共、商業の各施設をはじめ、幼稚園、阿伎留医療センター、新しい街並みの武蔵引田駅北口土地区画整理地内などのほか、移住先の参考に五日市地区の賃貸物件(一戸建)も紹介しています。

この市内案内は移住に対するイメージを持つ上で大変有効だと感じました。私たちの会派は、この移住定住促進策を全力で支援し、市内への新しい住民の受け入れをサポートしていきます。



多摩川幼稚園での説明の様子

## 消防団についての要望

災害が起きた時はもちろん、普段から地域を支える存在として欠かせないのが、消防団員の方々です。

しかし、その人数は年々減少しており、定数506名に対して現在の在籍者は充足率約70%となる356名となっています。消防団が災害現場で活動する際にも効率的な活動に支障が生じていることから、この団員数の減少傾向を一刻も早く食い止めなければならない状況です。

今後起こり得る火災や風水害、地震などの災害に備えるためには、消防団による防災力の向上は喫緊の課題です。

そこで私たち志清会は、早期に消防団員の確保対策を図るため、消防団員加入に伴う企業側のメリットを周知すること、学生及び女性の団員の確保などについて、幅広い視点での検討に取り組んでいただくよう、市長に要望しました。



志清会要望の  
全容はこちらから



政策・活動はホームページでもご覧いただけます。

自由民主党 志清会

お問い合わせ先

☎ 070-4342-6863

志清会

検索

<https://www.akiruno-jimin.tokyo/>

